

国内の木材の自給率

環境にも優しい! 県産材の有効活用

「異樹種集成材」実用化への取り組み

日本の木材自給率は20%程度と低い水準 です。国産材の利用を促進するためには、輸 入材と組み合わせて利用することが有効です。 中国木材(株)では、軽くて粘りのある国産ス ギと強くてたわみにくい輸入材ベイマツを 組み合わせた「異樹種集成材」の開発に取 り組んでいます。さらに、広島県と共同でさ まざまな強度試験を実施。その性能を評価 することで、「異樹種集成材」として日本で初 めて住宅建築用のJAS(日本農林規格)認 定を受けることができました。

現在、住宅用構造材として広 く活用されています。

今まで使えなかった木材を 活用するため、山林再生と地球環境保護にもつながります

中国木材(株) 吉田 徳之さん



西日本最大級の木材評価試験設備

木材の性能評価を 希望される場合は お問い合わせ先まで!

お問い合わせ

100(%)

80

60

40

20

県立総合技術研究所 林業技術センター 技術支援部 20824(63)0897 [AX]0824(63)7103

【平成21年2月号 掲載】

0 昭和33 43 47 55平成2 7 12 16 17 18 19





輝度(明るさ)の測定実験などを繰り返し行い、 LED基板の放熱・冷却の特性を検証

)この技術のご利用を希望され る場合はお問い合わせ先まで!

長寿命で省エネルギーの光源を実用化

「LEDの高密度集積基板」の開発をご紹介

次世代の光源として注目されているLED(発光ダイオード)は、消費電力が 少なく寿命が長いのが特徴です。しかし、照明として使用するには輝度(明

るさ)が低いという課題がありました。LED素子 を密集させると輝度は向上しますが、自らの発 熱で周囲の温度が上がり、素子や土台となる基 板が破損してしまいます。そこで、県では企業と 共同で、LED素子を高密度に集積させる方法 を研究し、効果的に放熱・冷却するLED基板を 開発しました。共同研究を行ったエクセル(株) では、長寿命の標識や案内板を商品開発。道路 や病院などさまざまな場所で活用されています。



環境にも優しいLEDは、 家庭の光源としても注目

> 技術を導入した エクセル(株) 藤原 勝則さん

県立総合技術研究所 西部工業技術センター 生産技術アカデミー 🏗 082 (420) 0537 🖾 082 (420) 0539

お問い合わせ

【平成21年3月号 掲載】



県立総合技術研究所 の新技術で 広島をもっと元気に!



この技術のご利用を希望され る場合はお問い合わせ先まで!

レンジ 圧力を応用して、カキの殻むきを効率化

「食品素材への圧力利用技術」をご紹介します

圧力処理には、タンパク質変性や微生物の発育を抑える作用があり、食品の 加工・殺菌などに応用されています。県は関係機関と協力し、この技術を利用 した、カキの自動殻むき装置を開発しました。カキを800気圧・40℃という環 境に置くことで、人の手を使わなくても殻がきれいに開き、簡単にむき身を取 り出すことができるのです。今までは人による手作業が欠かせませんでしたが、

身切れやカキの殻の混入など少ない、安全・ 安心なむき身力キを効率よく生産できるよう になりました。この装置を導入した倉橋島海産 (株)では、圧力の微生物発育を抑制し、酵素 分解を促進するという特性を利用して、カキ エキスの開発に成功しました。



短時間で、食塩無添加の 体に良い加工食品がで きます

県と共同研究を行い、 技術を導入した 倉橋島海産(株) 斉藤 紲男さん







圧力でうま味と栄養分を濃縮した「カキ のまるごとエキス」やサプリメントを開発

お問い合わせ

県立総合技術研究所 食品工業技術センター 技術支援部 🕿 082(251)7433 FAX 082(251)6087

【平成21年5月号 掲載】

第8回 県立総合技術研究所 の新技術で

ユニバーサルデザイン製品の 開発支援を希望される場合は お問い合わせ先まで!

広島をもっと元気に!

清掃作業の負担を軽減し、安全で快適に

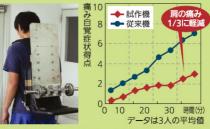
ユニバーサルデザインを生かした製品開発支援を紹介

年齢や身体能力を問わず多くの人に使いやすい製品をつくるための、ユニバー サルデザイン。県では、この技術を生かした製品開発の支援を行っています。

例えば、ゴミを効率的に清掃できる「エ ンジンブロワ」。重い機械を背負うため、 肩への負担軽減が求められてきた製 品です。県は大学・企業と協力し、日 本古来の民具「背負子」を参考に、腰 で支える新デザインを開発。試作機 で実験を行い、従来のものに比べ、 肩への圧力を4分の3、痛みの自覚症 状を3分の1に軽減することに成功。 共同研究を行った新ダイワ工業(株) では、このデータを参考に、新製品を 開発しました。

誰もが使いやすく、快適に作業 できる製品が完成しました

> 新ダイワ工業(株)秋田 誠さん



体への負担を測れるフィッティング検証機を製 作し、実験を実施





道路などの清掃作業に使

お問い合わせ

県立総合技術研究所 西部工業技術センター 生産技術アカデミー 2082(420)0538 FAX 082(420)0539